

授業科目	在宅看護学概論	2 学年・後期・1 単位 (15 時間)	
		看護	必修

科目担当責任者	上田 泉 (保健医療学研究棟 E104 号) e-mail : iueda@sapmed. ac. jp	非常勤講師 連絡担当教員	
担当教員	深川周平、村川奨		
概要	在宅看護の概念を理解する。在宅看護に関する国内外における歴史を踏まえ、現在の社会的・時代的ニーズや実態について学び、在宅看護の意義および基本的な機能、役割を理解する。在宅看護の目標、活動と対象者の特性を理解し、在宅療養者や障がい者およびその家族の健康と生活、生活への支援、家族へのチームアプローチのあり方等、在宅における看護の基礎的知識について理解を深める。看護ならびに関係者との協働をととした在宅ケアにおける看護職の役割について学び、在宅看護における倫理ならびに法的責任、在宅看護が抱える問題と今度の課題について学習する。		
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 在宅看護の理念、歴史的変遷と今日の在宅看護をとりまく社会的背景を説明できる。 2. 在宅看護の目標、対象、活動の特性、活動の場の特性を説明できる。 3. 在宅療養者や障がい者およびその家族の健康と生活、生活支援のあり方について述べるができる。 4. 在宅療養者や障がい者およびその家族へのチームアプローチのあり方について述べるができる。 5. 在宅看護における倫理ならびに法的責任、在宅看護が抱える問題と今後の課題について述べるができる。 		
関連科目	在宅看護方法、保健福祉行政論、在宅看護実習		
評価	評価対象	評価割合(%)	備考
	提出物	70%	提出物は、最終レポートにより評価する。参加態度は、グループ学習の参加状況およびグループ学習の発表状況及び内容により評価する。レポート「在宅での介護の現状と課題、看護者の役割」について。評価基準：文献等を用いて①介護の現状と課題、②看護者の役割、③自分の感想と考察、①②③が明確に述べられているかどうか。
	参加態度	30%	
教科書	①波川京子他 [最新版] 「在宅看護学」 クオリティケア ②上田泉他 [最新版] 「在宅看護過程演習」 クオリティケア		
参考書	指定なし		
履修上の留意点	詳細な学習要項・グループ学習要領は別途配布する。		

実施回	内 容	事前・事後課題	形態	担当教員
1	在宅看護の理念、歴史的変遷と介護保険制度の設立、諸外国の在宅看護、在宅看護の定義、在宅看護の背景と特性、訪問看護システム 事前：教科書の学習内容に該当する章を読む。 事後：講義資料とノートの確認 講義 上田 2 在宅看護の目標、在宅療養者・家族・地域社会	事前：教科書の学習内容に該当する章を読む。 事後：講義資料とノートの確認	講義	上田
2	在宅看護の目標、在宅療養者・家族・地域社会の理解、在宅看護における活動の特性、活動の場の特性	事前：教科書の学習内容に該当する章を読む。 事後：講義資料とノートの確認	〃	〃
3	在宅療養者の権利、在宅療養者および家族の健康、在宅療養者の生活と安全管理	事前：教科書の学習内容に該当する章を読む。 事後：講義資料とノートの確認	〃	〃
4	在宅療養者および家族の生活の特徴、在宅生活を考慮した日常生活援助	事前：教科書の学習内容に該当する章を読む。 事後：講義資料とノートの確認	〃	村川・上田
5	在宅療養者への生活支援のあり方、チームアプローチと連携	事前：事前配布資料の確認。 事後：グループ学習のまとめ	講義・グループ学習	〃

6	在宅ケアに関する社会資源の理解、ケアマネジメントの基本、在宅ケアに関わる関係機関・関係職種、チームアプローチの重要性	事前：教科書の学習内容に該当する章を読む。 事後：講義資料とノートの確認	講義	深川
7	地域包括支援センター、介護予防センター等の関係機関との連携、社会資源の活用、在宅ケアにおける看護職の役割・機能	事後：グループ学習のまとめ	講義・グループ学習	村川・上田
8	在宅看護における倫理、リスクマネジメント、法的責任、在宅看護が抱える問題、在宅看護の展望と今後の課題	事前：教科書の学習内容に該当する章を読む。 事後：講義資料とノートの確認	講義	上田